

森林環境の保全

【基本目標】

森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成

第4期(令和3年度から令和7年度)の主な取組実績(見込)

- 水源区域や水源かん養機能または山地災害防止機能が特に高い森林のうち、荒廃のおそれがある森林の整備を支援。
再造林等 331ha、一貫作業 674ha、間伐 2,841ha
- 森林整備等を促進するため、林内路網の開設を支援。
森林作業道開設 20km、林内作業路の整備 185km
- 里山環境の整備。
整備面積 515ha、伐倒駆除1,500m³、誘引捕殺560m³、予防2,623本
- 市町村の独自性を凝らした森林整備。
森林整備 43市町村 478ha、森林の適正管理 52市町村
- 未利用森林資源の利用推進。
間伐材の搬出・運搬の支援 140,000トン、木質ペレットストーブ等の導入支援 480台
- 住宅等への県産木材の利用推進。
住宅への補助 749戸、県産木材の利活用 29市町村 140件

【指摘された課題】

- ・主伐期を迎えた森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」ことによる森林環境の保全や森林の循環利用を進めることが必要。
- ・県内には荒廃が懸念される森林がまだまだ多いため、間伐等に引き続き取り組むことが必要。
- ・野生動物の人里への出没が問題となっている現状にあるため、地域住民が里山林を整備できるような支援が必要。
- ・森林整備に必要な路網の整備や花粉症発生源対策、森林病虫獣害対策、低コスト化・省力化、地域住民の意識醸成に取り組むことも必要。

課題に応える令和8年度からの取組

○荒廃のおそれのある森林の整備

- ・水源かん養機能又は山地災害防止機能が重視される民有林における間伐や、再造林を支援し若返りを図る。【拡充】
再造林等 1,550ha、一貫作業 1,250ha、間伐 1,355ha
※森林整備事業

○花粉発生源対策【一部新規】

- ・花粉症の発生源対策の取組を強化しながら、持続可能な森林資源の維持に向けた再造林を実施。【新規】
再造林 250ha
※森林整備事業
- ・スギ花粉症の対策のため花粉症対策品種等の採穂園・採種園を造成・管理し、種苗を生産供給する。【継続】
採穂園・採種園造成 全7箇所
※花粉の少ない苗木づくり対策事業

○路網の整備と間伐材搬出の支援【継続】

- ・継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため作業道の整備を支援。
森林作業道 9,500m、林内作業路 141,600m
※林内路網整備事業

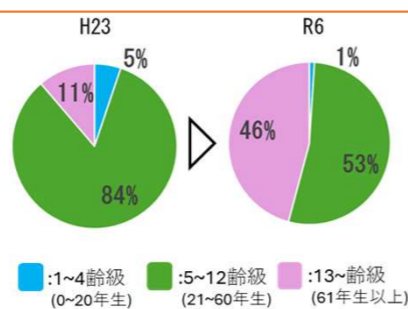
○里山林の整備【継続】

- ・人の生活圏と野生動物の生息域の間の緩衝帯設置など、里山環境を整備。
計画面積 525ha
- ・森林病害虫の被害把握、被害防除。
カンナガ防除 3,000m²
※以上、里山林整備事業

○森林資源の循環利用【継続】

- ・間伐材など未利用木材のバイオマス燃料の利用拡大。
間伐材の搬出等 140,000トン
- ・住宅等への県産木材の利用推進。住宅 500戸
※以上、ふくしまの低炭素社会づくり推進事業
- ・新たな木材利用に係る製品開発への支援。20件
※木づかい社会づくり促進事業

H23・R6人工林の年齢分布の変化(スギ・ヒノキ・カラマツ)



第4期(令和3年度から令和7年度)の主な取組実績(見込)

- 小中学校の生徒を対象とした森林環境学習の実施や施設等への県産材の利活用促進等。
森林環境学習実施校 のべ 1,819校(全小中学校の 約59%)、木工工作体験 57校
- 教育現場の意見等を踏まえたポータルサイトの作成。
ふくしま森林環境教育ポータルサイト「KIZUKIの素」を作成
- 幅広い世代への森林づくりの意識醸成。
ふくしま植樹祭 5回、林業祭 5回、森林と水循環に関するイベント 22回、森林と生物多様性に関するイベント 3回、市町村による森林づくりイベント開催等 44市町村
- 森林とふれあうためのフィールドを整備し、森林環境学習の指導者を育成。
フィールド整備 ふくしま県民の森ほか3か所
指導者育成 もりの案内人 82人、グリーンフォレスター 12人
- 森林の文化や木の文化の県民への継承等。
記録映像 9本、イベント等 38回、桐や漆の文化継承イベント等 23回

【指摘された課題】

- ・森林ボランティア団体や企業などの森林づくりを支援するとともに、幼少期から高齢の方に至るまで、広い世代が参加する森林づくり意識醸成活動や森林環境学習等の機会を提供することが必要。
- ・イベントやSNS等の様々な方法や機会を捉えて、森林の有する公益的機能の重要性を発信していくことが必要。
- ・全ての県民の森林環境基金制度の理解促進を図るため、広報活動を強化することが必要。

課題に応える令和8年度からの取組

○幼児から大人までの森林環境学習活動【継続】

- ・幼稚園における、森林とふれあう活動や木製玩具の貸出を実施。
のべ80施設 ※木づかい社会づくり促進事業
- ・市町村による、小中学校の生徒を対象とした森林環境学習を実施。
のべ 1,850校 ※森林環境交付金事業
- ・県立高校生が行う森林環境学習活動を支援。
のべ 50校
- ・大学生等が行う森林に関する自己学習活動を支援。
のべ 20団体
- ・森林と水循環や生物多様性の観点からの森林環境学習等の実施。
森林と水循環に関するイベント等 65回
森林と生物多様性に関するイベント 5回
※以上、森林環境学習支援事業

○森林づくり指導者の育成・森林づくり活動の支援【継続】

- ・森林の役割や重要性を広く県民に伝える「もりの案内人」や森林整備のスペシャリストの「グリーンフォレスター」を育成。130名
- ・森林ボランティア団体の活動を支援。50団体
- ・企業等が実施する森林づくり活動を支援。25協定
- ・森林ボランティアに関する相談窓口を設置し、県民の森林活動への参加を支援。
※以上、森林づくり総合対策事業

○県民参加型のイベントを開催【継続】

- ・林業祭やふくしま植樹祭等を開催し、森林づくりの意識醸成を図る。
ふくしま植樹祭 5回、林業祭 5回
※ふくしま植樹祭開催事業、林業普及推進事業

○情報発信の実施【継続】

- ・「ふくしま森林づくり県民税」を活用した取り組みや森林の公益的機能の情報をSNS等により発信。
- ・事業毎にSNS等で取組を周知。
※森林環境基金運営事業